公益社団法人霧島青年会議所　２０１９年度　第一回臨時理事会　議事録

開 催 日：平成３１年１月８日（火）

開会時間：２０時３０分

閉会時間：２３時００分

開催場所：ＪＣ会館

1. 開会宣言　　　　　　　　　　　　　　　　　　田上　俊介　　君
2. JCIクリード唱和　　　　　　　　　　　　　　　盛田　啓仁　　君
3. JCIMISSION及びJCI Vision唱和　　　　　　重野　隆太　　君
4. JC宣言文朗読並びに綱領唱和　　　　　　　　　　板元　幸仁　　君
5. 霧島JC未来ビジョン唱和　　　　　　　　　　　鈴吉　美絵　　君
6. ２０１９年度スローガン唱和　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　同上
7. 理事長挨拶

理事長　藏元　国明君

皆さん、あけましておめでとうございます。いよいよ２０１９年度がはじまりました。２０１９年度やっていくぞという気持ちで仕事は勿論ですがＪＣ活動をして頂けましたらと思います。まずは自分が旗印となれるよう率先垂範して参りたいと思います。皆さんの背中を見て会員は動くと思ってください。熱量、行動量がなければ会員はついてきません。そこを考えてしっかりとお願いしたいと思います。お互いがお互いを注意しながら、そしてサポートしあって進めていけたらと思っております。簡単ではありますが、本日から１年間どうぞよろしくお願い致します。

1. 直前理事長挨拶

直前理事長　前田　数馬君

あけましておめでとうございます。シニアとなりますが、直前理事長として１年間よろしくお願い致します。先ほど、２０１８年度の決算・事業報告が審議可決されまして２０１９年度に繋げることができたのかなと思います。２０１９年度のはじまる今、理事の皆さんは希望に満ちていることかと思いますが、しっかりとスケジューリングをして息切れしないようにやっていってもらえましたらと思います。特に委員長の皆様は焦らずにじっくりと委員会メンバーの人たちと話をしながら形を作ってもらえましたらと思います。２０１９年度が素晴らしい事業を行い霧島ＪＣがますます発展することを祈念致しまして直前理事長の挨拶とさせて頂きます。

９．顧問挨拶

顧問　竹下　圭一郎君

欠席のため割愛。

１０． 議長選出

審議事項：理事長　藏元　国明

協議事項、報告事項：専務理事　前田大悟

１１．議事録作成人並びに署名人の指名

議事録作成人：橋事務局長

　　　議事録署名人：木野田副理事長、板元委員長

１２．出席者及び定足数の確認

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 藏元国明 | 〇 | 鈴吉美絵 | ○ | 木野田幸平 | ○ | 田上俊介 | 〇 | 重野隆太 | 〇 |
| 板元幸仁 | 〇 | 盛田啓仁 | ○ | 前田大悟 | 〇 | 南郷英俊 | ○ | 橋正貴 | 〇 |

　　理事１０名中１０名出席により定足数を充たしていることを確認した。

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 前田数馬 | 〇 | 竹下圭一郎 | × | 井上正樹 | ○ | 常盤大和 | ○ |
| 東井上陽平 | 〇 |  |  |  |  |  |  |

　　役員５名中、４名出席により定足数を充たしていることを確認した。

１３．議題並びに資料の確認

審議事項２件　　協議事項５件　　連絡・報告事項３件　となっております。

１４．議事録承認の件

鈴吉　：確認させて頂き問題ないことを報告させて頂きます。

重野　：確認し、不備なきことをご報告させて頂きます。

１５．議題

審議事項１：２０１８年度　決算報告の件

前田(大)：資料の確認をお願いします。先ほどの前年度理事会からの資料となります。財産目録、貸借対照表となります。資料お目通し頂けましたらと思います。

藏元　　：修正箇所です。監事の証明に関して日付を修正のうえ総会には提出となります。その他、御質問等ありましたらお願い致します。

常盤　　：未払いがあるのですが、詳細を教えてください。

前田(大)：前年度　専務よりＷＥ　ＢＥＬＩＥＶＥの追加の会費購読料となっておりますと引継ぎを受けており２０１９年度での支払いを依頼されております。

鈴吉　　：毎年、京都会議の８，０００円が未払いとなっておりますが、どうでしょうか？

常盤　　：その件に関しては、昨年未払いがあるとおかしいので、その年度のうちに済ませましょうと伝えてありますので処理済かと思います。

審議：全会一致で審議可決。

審議事項２：２０１８年度　事業報告の件

藏元　　：修正箇所の説明。現在、修正を行っているところでありますが、総会の際は、補足資料となります。

審議：全会一致で審議可決。

協議事項１：２０１９年度補正予算（案）について

前田(大)：今回補正予算を組ませて頂いてのですが、正味財産計画書について、数式があっていない状態で、Ｆ９６がマイナス４０万となっております。今後は、正しい書式を頂いておりますので、１月中に精通する会員を通じてしっかりとしたフォーマットを作りたいと思っております。変更事項ですが、会費収入に関しては、退会者がいますので３４名となっております。その他、広告宣伝費、消耗品費、管理運営予備費に関しまして補正を組ませて頂いております。

田上　　：先ほどの２０１８年度の決算書の期末残高と今回の期首残高があってないと思います。

前田(大)：シートの１１９番のところですが、こちらは修正のうえ計上させて頂きたいと思います。

重野　　：新入会員費として仮会員２名としている理由はなんですか？

前田(大)：予算として２名計上しております。

藏元　　：補足です。私の想いとしては１５人拡大としているところは変わりません。ただ、予算を組むうえで１５名としているなかで、成果がでないときに大きく予算がずれて、資金ショートすることを避けるために近年は、この部分を２名とさせて頂いております。

井上　　：基本資料のシニア１３名とありますが、どうしてですか？

前田(大)：明日の新春賀詞懇談会にてシニア会員への配布する分と確認しております。

藏元　　：周知を図れていないところもあると思います。今後についてはシニア事務局を現役で行う等して参りたいと思います。

東井上　：明日、シニア会員は１３名しか来ないのですか？

前田(大)：基本資料の購入に際し、希望者を募った結果で１３名とのことです。まだ、配布という認識でいるのかもしれませんので、今後は、働きかけをしていきたいと思います。

南郷　　：審議繰り上げ同義

セコンド：重野、板元

藏元　　：繰り上げ同義

全会一致で審議繰り上げとなる。

藏元　　：審議

全会一致で審議可決となる。

協議事項２：２０１９年度１月通常総会計画書並びに予算（案）について

鈴吉　　：３回目となりますが、総会資料等もありましたので、協議で上程させて頂いております。よろしくお願い致します。

重野　　：事前配信させて頂いております。変更事項としてアンケートがＷＥＢでの実施でしたので、監事よりアドバイス頂きまして審議から参考資料へと変更させて頂いております。

南郷　　：今回、予算が０円とのことでありましたので特にありません。

常盤　　：確認ですが、指摘対応の最後の部分で和訳とあるのですが、シナリオには記載しないのでしょうか？

重野　　：実施するのですが、特に記載しておりません。

藏元　　：セレモニーについて、真意を分かってないのではないかと思い和訳について依頼ところでした。統一でお願いします。

東井上　：理事会では和訳なしで良いですか？

藏元　　：まずは、我々がというところもありますので、次回の理事会からは実施していきます。

木野田　：確認ですが、和訳をＳＮＳ等で配信しますとありますが、どの様な配信をするのか教えてください。

重野　　：グループLINEにて和訳の実施、手帳に記載されている旨を伝えようと思っております。

鈴吉　　：繰り上げ上程同義

セコンド：橋、板元

同義：全会一致で審議繰り上げとする。

審議：全会一致で審議可決となる。

重野　　：新春懇談会もありますが、当委員会が1発目の事業となり一致団結が求められると思います。藏元理事長の想いを伝える場だと思いますので工夫を凝らしていきたいと思っております。総務が変われば組織が変わる　を胸に１年間頑張っていきたいと思います。

協議事項２：２０１９年度３月例会計画書並びに予算（案）について

木野田　：２回目の上程です。方向性としましては、基本方針・事業計画書の存在意義を高める部分の出発点として考えて参りました。１，２月で異業種交流会をしたうえでと思っております。また、背景目的については統一となります。

板元　　：背景目的は統一のもので記載しております。その他正副の指摘と対応とさせて頂いております。よろしくお願い致します。

南郷　　：対内の目的についてですが、霧島ＪＣと霧島青年会議所と分けた理由があるのでしょうか？

板元　　：会員について霧島ＪＣ、活動運動に関しては霧島青年会議所としたのですが、統一したいと思います。

南郷　　：もう一点、対内目的ですので会員がと始まらなくても良いと思います、意見です。

板元　　：合わせて修正して参ります。

鈴吉　　：９番項ですが、会員拡大について記載されているなかで、目的は存在意義とずれているように感じますので理由を教えてください。

板元　　：見落としておりました。存在意義に関しては、霧島青年会議所とはどんなものかを再認識したうえで拡大に結び付けるイメージでしたが文章が不足しておりましたので再考させて頂きます。

東井上　：オブザーバーは呼ぶのでしょうか？

藏元　　：計画書にオブザーバーを何名呼ぶとかすると呼びかけだけに注力してしまいがちなので記載しておりませんが、参加予定です。

東井上　：メインの内容も対外に向ける内容でしたので質問でした。

常盤　　：中身はまだ詰めていかないといけないと思うのですが、参加促進に関しては案内を流しますは促進ではないと思うので、委員会で考えてどうやったら例会にくるかを話あって記載頂けましたらと思います。

井上　　：目的の方向性を確認の部分はありますが、連携を深める工夫があれば記載頂きたいと思います。

板元　　：連携を深める部分については、参加促進の中の乗り合わせを連絡取り合ったりして連携を深めるという風に例会開催を通じてと考えておりますが、今一度再考して参ります。

常盤　　：アンケートの印刷費は、事務局費で対応なのか？また特別会員のところに１円とありますが、何でしょうか？また会場図が一天張となっております。ここがベースになると思いますので、各委員長と連携してしっかりと作成頂けましたらと思います。

南郷　　：アンケートにつきましては、事務局費でと思っております。１円の部分については確認ミスでした。申し訳ございません。

板元　　：１円に関しては、記載ミスです。会場図は、見落としておりました。引継ぎできるよう作成して参ります。

前田　　：メインプログラムを行うのであれば、その部分に関する工夫と期待される効果にボリュームを持たせて頂けましたらと思います。

板元　　：具体的に記載させて頂きます。

藏元　　：参加促進に関しては、しっかりと検証してもらうようにしますので、検証材料となるように進めて頂けましたらと思います。方向性に関しては、この内容、メインプログラムでも繋がると思います。手法説明に記載の仕方があると思いますので、理事役員に共感して頂ける内容を記載してください。

板元　　：再度修正させて頂きたいと思います。

前田(大)：これで２０１９年度３月例会計画書並びに予算（案）について閉じさせて頂きます。

重野　　：休憩同義

セコンド：板元、盛田

２１：４５までの休憩で可決。

協議事項４：２０１９年度４月例会計画書並びに予算（案）について

田上　　：１回目となります。正副での指摘に対応させて頂いております。

盛田　　：指摘、対応の説明。

南郷　　：資料作成費の中で、アンケートが含まれておりませんが、なしで良かったでしょうか？また会場等の見積書の添付をお願いします。

盛田　　：改めて協議したいと思います。

重野　　：背景について３月例会と違っているので、統一でお願い致します。

盛田　　：統一で修正します。

板元　　：対外対象者の記載の仕方について、各種企業などの記載をした方がわかりやすいかと思います。

鈴吉　　：今の部分と重複するのですが、若い世代１２名とありますが数字の根拠があるのでしょうか？

盛田　　：グループワークを考えておりまして６グループ作った時に１グループに一人という認識です。

鈴吉　　：一企業、一団体から一人とするとなかなか集まらないかと思います。しっかり考えをもって詳細を検討ください。

板元　　：この計画書の中で、結束が強まる部分を教えてください。メインプログラムに引っ張られている気がするので、会員のための例会ということを念頭に構築頂けましたらと思います。

鈴吉　　：メインを通じてコンテスト応募となると思いますが、どの様なコンテストやどのコンテストに出すのか決まっていますか？

南郷　　：予算書でもう一点ですが様式１の管理表、３月例会を見て例会の予算を構築してください。

井上　　：とても、ワクワクする計画だと思いますが、対外目的があるなかで背景とまったくリンクしないので、背景を２つなのか、執行部の方で取り決めをしてください。今から色々と決まっていくとは思うのですが、内容を詰めていって欲しいのと外部参加者を呼ぶことは難しいことですので、対外の参加促進方法をもっと考えてもらえましたらと思います。また外部が参加する際は、スケジュール・進行表など精査いただけましたらおもいます

盛田　　：資料を充実させたいと思います。

藏元　　：今ありましたが、背景については委員長が迷わないように、もう一度正副で話をさせてください。

常盤　　：メインプログラムと例会どちらもとなると大変かと思いますので、横の連携でセレモニーを他の委員会にお願いするでも良いと思いますので連ご検討ください。

前田　　：委員長の想う夢を描けるまちってどんなイメージですか？どうすればよいと思います。

盛田　　：理事長の想いの中でまだ自分のイメージはありませんでした。

前田　　：何か問題定義したうえで進めないと対外の人には何も響かない。まず委員長がしっかりとイメージをもって委員会で考えてもらえたらと思います。

盛田　　：仕組みづくりばかりを考えていたもので、内容について考えて参りたいと思います。

藏元　　：色々と意見がありましたが、まずは資料不足。あと井上監事からもありましたが、おもしろそうだけど内容がわからない。向かっている方向性は間違っていないと思いますので、副理事長と話をしながら進めて頂けましたらと思います。もっと委員会を活性化させてください。まだ２，３人の意見でしかないと思います。委員会の意見を吸い上げて計画を作るようにお願いします。

東井上　：これは、公益事業ですか？

藏元　　：一般に公募するものが公益事業であると思います。

前田(大)：２０１９年度４月例会を閉じさせて頂きます。

協議事項５：啓発事業・広報誌作成計画書並びに予算（案）について

木野田　：啓発事業ということで、多くの企業とタイアップをして記事を作っていきたいと考えております。

板元　　：広報誌の作成に関する計画書になります。申し訳ないのですが資料不足の点もあるかと思いますがよろしくお願い致します。月一度、日本ＪＣから届きますＷＥ　ＢＥＬＩＥＶＥをイメージしております。

南郷　　：背景１行目に地域に周知する広報とありますが、何を周知する広報なのか教えてください。

板元　　：前文のまちのことを考え～のところに係っております。

南郷　　：事業内容でよかったでしょうか？

板元　　：事業内容もですが、事業への想いも含めております。

南郷　　：であれば、もう少しわかりやすく記載頂けましたらと思います。

田上　　：広報を効果的に行うとあるのですが、対外に発信するのであれば広報計画が記載されておりますでしょうか？

板元　　：調査に関しては委員会活動で行ったうえでと考えておりましたので、記載しておりません。

田上　　：闇雲に配っても意味がないと思いますので、工夫のところに記載した方が良いと思います。

板元　　：早急に調査を行い反映させたいと思います。

鈴吉　　：４，６００部とあるのですが、どこに何枚配るのか考えて記載してください。あと、対談予定の方々には連絡済ですか？

板元　　：イメージとして話を聞いてみたいという形であげさせて頂きました。

鈴吉　　：理由はありますか？

東井上　：特別な理由はなく、自分が直接話を聞いてみたいと思うところでありました。

鈴吉　　：今の内容を資料にしてください。対談内容によりますが、委員長の想いも大切ですが理事長・副理事長と話したうえで誰が効果的なのか検討してください。

東井上　：この事業は年間事業計画でいうとどの事業なのでしょうか？

板元　　：３番項の共感の輪を広げる仲間づくり事業になります。

東井上　：タイトルは事業名になるのかなと思いますが、今年度の意向を確認頂けましたらと思います。計画を見ると公益事業ですので、１２番項は公益に修正をお願いします。

常盤　　：公益事業ですので、ＪＣのことを広げたいという内容では公益性をとるというのは難しいと思います。あくまで、自分たちへの共感ではなく、まちづくりに対する意識の醸造に関して啓発することを目的しないといけないと思います。

前田(大)：はじめての試みの中で、中身を練り直しといいますか打ち合わせをして方向性を決めさせて頂きたいと思います。

井上　　：作成や配布の工夫はあるのですが、一番大切な中身に関して、どうやって伝えるのかという工夫と効果をもっと考えてください。

板元　　：追加して参ります。

鈴吉　　：３０周年の記念誌の引継ぎが記載されていますが、対外に対しての部分であればリーフレット等を作成した時の引継ぎを参考にしてみてください。

板元　　：参考にさせて頂きたいと思います。

前田　　：板元委員長の広報戦略とはどの様な戦略なのか教えてください。

板元　　：一つ目は、言い方が悪いですがネットに弱い方々へのアプローチとして行う。あとは、広報を行う際の説明になればと思っております。

前田　　：戦略の部分がまだ不明確だと思う。第１段にこれ、次に何という風に考えるのが戦略だと思います。年間の広報戦略をフローで作った方が良いと思います。対談者はパンダでしかない。本を見てもらうためのものであって、その中で何を啓発するのか？をしっかりと考えてください。

常盤　　：確認だったのですが、協賛で１０万となっていますが、協賛の集め方は計画書に反映だと思うので執行部の方でフォーマットでないですが形を作成してください。

南郷　　：早急に確認のうえで取り掛かります。

前田(大)：対談者を決めているのですが、最終的に何を伝えたいかがないと思います。もう少し調べて組み立ててください。調査のうえで根拠をもって資料付けをしていけばより良くなるかと思います。

藏元　　：戦略をもって広報というのは難しいことではありますが、計画書を見る限りＪＣ本意であって誰に見てもらうのかが明確でないと思います。今、一生懸命計画を構築して頂いているなかで、この対談者で良いのかの判断もできない。主体性を市民町民が増えるイメージをもって作成してください。地域や人のニーズをしっかりと拾って根拠付けていかないとただのばらまきになると思います。

前田(大)：以上で、啓発事業・広報誌作成計画書並びに予算（案）を閉じさせて頂きます。

監事講評：常盤大和くん

常盤　　：

改めまして、あけましておめでとうございます。初めて監事をさせて頂くのですが私も専務、委員長、副理事長と色々経験させて頂いた中で出来なかったことについてもアドバイスだったり意見だったりさせてもらおうと思いますので、過去してなかったのに。というのは、なしでお願いしたいと思います。ただ、自分自身もきちんすることで発言の重みも違うと思うので、取り組んだうえで発言したいと思いますので１年間厳しいことも言いますが、ご理解のほど、よろしくお願い致します。時間については、定刻通りの始まり、終了となり執行部、副理事長の準備がしっかりしていたかと思います。議案に関しては色々と意見もあったと思いますが、２０１８年度からしっかりと引き継がれたので、この流れで２０１９年度の活動に活かして頂けましたらト思います。総務に関しては、１月総会の議案がベースになると思いますので、体現して頂けましたらと思います。その他の議案に関しては、資料不足等は勿論なのですが置いておいて、もっと色を出していいかと思います。せっかく、経験者が揃っている年にしかできないこと、もっと挑戦していいと思う。その中で失敗したら理事長が責任をとると思いますので。１月は各種、新春懇談会や京都会議など様々な事業もあります。体調管理もですがしっかりと乗り越えてもらえましたらと思います。

監事講評：井上正樹くん

井上　　： お疲れ様でした、１年間よろしくお願い致します。まずは総会、２０１８年度議案と審議おめでとうございます。また各月例会議案も上程がありました、メインプログラムを行う例会となっているので、横の繋がり、今までの経験や委員会の意見・力をもらって良い形を作って頂けましたらと思います。内容は常盤監事からもありましたので特にありませんが、明日は新春懇談会です。藏元理事長のお披露目となりますので理事役員を中心に盛り上げて、この地域に２０１９年度の方向性や新体制を見せることができればと思いますので、みんなで頑張っていきましょう。

次回開催

平成３１年　１月１５日　　第１回正副理事長会議

平成３１年　１月２９日　　第１回理事会

１７．閉会宣言　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　木野田　幸平　君

議長・理事長（代表理事）　　　　藏元　国明　　　　　　　　　㊞

議　事　録　署　名　人　　　　　木野田　幸平　　　　　　　　㊞

議　事　録　署　名　人　　　　　板元　幸仁　　　　　　　　　㊞

監　　　　　　　　　事　　　　　井上　正樹　　　　　　　　　㊞